

第181回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1 [丸数字は予想配点、合計50点]

問1 部品X [㉒ 600]円/個 部品Y [㉒ 250]円/個 製品Z [㉒ 400]円/個
 部品X [㉒ 300]円/h 部品Y [㉒ 250]円/h

問2 貢献利益の総額 [⑩ 1,800,000]円

問3 貢献利益の総額 [㉓ 1,900,000]円

問4

原価基準によって振替を行うと、部品事業部において内部振替分の利益が計上されないこととなり、適切な業績評価を行うことができないという問題点がある。⑩

問5 [㉓ 500]円/個

問6 部品事業部の貢献利益総額 [㉓ 1,600,000]円

製品事業部の貢献利益総額 [㉓ 300,000]円

問題2 [丸数字は予想配点、合計50点]

問1

予算損益計算書 (直接原価計算方式)		(単位:円)
売上高	[㊦ 6,600,000]	
変動売上原価	[2,640,000]	
変動製造マージン		[3,960,000]
変動販売費	[1,056,000]	
貢献利益		[㊦ 2,904,000]
固定製造原価	[2,000,000]	
固定販売費及び一般管理費	[744,280]	
営業利益		[㊦ 159,720]

問2 損益分岐点販売量 [㊦ 24,948]個

安全余裕率 [㊦ 5.5]%

経営レバレッジ係数 [㊦ 18]

問3 数値にはプラス・マイナスをつけず、不利な差異か有利な差異かに○をすること。

販売価格差異 [㊦ 250,000]円 (不利)・有利

販売数量差異 [㊦ 350,000]円 (不利)・有利

市場占有率差異 [㊦ 1,250,000]円 (不利)・有利

市場総需要量差異 [㊦ 900,000]円 (不利)・有利